

神奈川県立岩戸養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	第3回神奈川県立岩戸養護学校における学校運営協議会
開催日時	令和3年10月12日(火) 10:00~11:00
開催場所	神奈川県立岩戸養護学校 会議室
出席者	神奈川県立岩戸養護学校 学校運営協議会委員 5名 神奈川県立岩戸養護学校 教職員 9名
次回開催予定日	令和4年2月22日(火) <学校運営協議会・学校評価部会・岩戸の食育部会>
問い合わせ先	副校長 塚越 立子 TEL. 046-839-4502
下欄に掲載するもの	・ 議事録
審議(会議)経過	<p>I 学校長挨拶</p> <p>II 岩戸養護学校の教育課程を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長より「岩戸養護学校のいままでとこれから」について ・ 授業運営 GL より「岩戸養護学校の教育課程について」 <p>IV 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今いる生徒にとっては、いい形かもしれないが、出口での姿を明確に描けているのか。 →個別の教育計画を作成し目標を立てて取り組んでいる。今後、さらにも、学習評価についても考えていきたい。職業などでは縦割りで、上級生を目標にできるような場面も設定している。 ・ 職業では、本人が得意な内容の時にはとても楽しんでしたが、今年度は、苦痛になっている。 →職業の授業は、作業のプロを育てるわけではなく、働くということについて学ぶ授業である。個々に応じた内容については、引き続き課題として検討したい。 ・ 職業は、中学校にはない科目なので、中学校へも情報提供してほしい。 ・ 若いうちに苦勞はさせてほしい。実習生を見ていても楽な方を保護者が選ばせてしまっている。卒業したときに何が必要なのかよく考えて、苦勞をさせた方がいい。 ・ 生徒は何を求めて学校に入学するかというと、学校生活の充実。職業も大事だが、楽しく学校生活を送ることも大事。岩戸のチャレンジタイムは、釜利谷高校のチャレンジ&ベーシックと似ていると感じた。そこでは、検定などにチャレンジすると同時に小中学校レベルの課題の学びなおしをしていた。継続できる仕組みが大切。有意義な時間となるように期待している。 ・ チャレンジタイムの試み、職業、部活動の縦割り、進路などの系統性など、よくできた教育課程。今後は、中身が大切。精度を上げて欲しい。 ・ インクルーシブ実践推進校の進路先として、専門学校などへの門戸を

	<p>広げる必要性などが話題となっている。特別支援学校の卒業後の進路としても、就労だけでなく進学も広がって欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程は、「しくみとしかけ」の両方が必要。今後は、コンセプトの共有とソフト（人材）について考えていきたい。 <p>VII 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回…2月22日（火）
<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料「岩戸養護学校のこれまでとこれから」 ・資料「令和4年度以降の岩戸養護学校教育課程について」